

■高木貞治 数学者。20世紀の数論の最重要な成果“類体論”で、日本初の世界的数学者になった。名著「解析概論」。

たかぎていじ

初の民間工場1875＝ 岐阜県大野郡数屋で後妻の子に生まれたが、母の兄の実子とされ高木姓となる。

明治14年政変1881＝ 6歳：新体詩抄・・・1882＝ 7歳：一色学校に入学。

秩父事件・・・1884＝ 9歳：飛び級重ね、半分の3年で上等科に進み、

帝国大学始・・・1886＝11歳：岐阜尋常中学校に入学。

帝国憲法発布1889＝14歳：

足尾鉍毒始・・・1891＝16歳：第三高等学校に入学、

郡司千島探検1893＝18歳：日清戦争始・・・1894＝19歳：卒業し、_帝国大学理科大学数学科に進学。藤沢利喜太郎の指導を受け、セミナー演習録に「アーベル方程式について」を発表。

八幡製鉄始・・・1897＝22歳：卒業。さらに、大学院に進んで、子規句歌革新1898＝23歳：「新撰算術」「新撰代数学」。_ドイツに留学。

ベルリンおよびゲッティンゲン大学に学び、

ヒ°ア/国産化・・・1900＝25歳：_留学中に東大助教授となり、

田中正造直訴1901＝26歳：_帰国。

教科書疑獄・・・1902＝27歳：結婚。

日比谷公園・・・1903＝28歳：*“クロネッカーの青春の夢”という未解決問題のある場合を解決する一方、ゲッティンゲンで始めた虚数乗

法論に関する研究により、理学博士の学位を得た。

日露戦争始・・・1904＝29歳：「新式算術講義」。_教授となる。

日露戦争終・・・1905＝30歳：東大では代数、数論のほか解析学についても講義、

大逆事件判決1911＝36歳：

明治天皇没・・・1912＝

第1次世界大戦中より、_代数体のアーベル拡大の数論についての研究を進め、

大暴落・・・1920＝45歳：*ストラスブールの国際数学者会議で発表。それが“高木類体論”として世界に知られるようになったもので、20世紀の数論のもっとも重要な結果の一つである。

原敬首相暗殺1921＝46歳：水平社結成・・・1922＝47歳：「巾剰余の相互律」を発表、ヒルベルトの第9問題を解決し、世界に広く紹介される。

関東大震災・・・1923＝48歳：_チェコスロバキアの数学物理学会の名誉会員。

治安維持法・・・1925＝50歳：帝国学士院会員。

世界恐慌・・・1929＝54歳：_オスロー大学から名誉博士。

海軍軍縮条約1930＝55歳：「代数学講義」。

満州事変・・・1931＝56歳：「初等整数論講義」。

五一五事件・・・1932＝57歳：*チューリヒでの国際数学者会議で副議長となり、この会議で創設された“フィールズ賞”選考委員となる。

二二六事件・・・1936＝61歳：_定年退職。

日中戦争始・・・1937＝62歳：_海軍技術研究所の依頼で、暗号機“九七式印字機”の規約数計算に協力。

健保+総動員 1938＝63歳：*名著「解析概論」。

大政翼賛会・・・1940＝65歳：_文化勲章。

日米開戦・・・1941＝66歳：

創価学会検挙1943＝68歳：「数学小景」、

年金+総武装 1944＝69歳：陸軍数学研究会副会長。

敗戦・・・1945＝70歳：

新憲法施行・・・1947＝72歳：

極東裁判判決・・・1948＝73歳：「代数的整数論」、

三大事件・・・1949＝74歳：「数学の自由性」「数の概念」、

独立回復・・・1951＝76歳：

55年体制始・・・1955＝80歳：_東京と日光で開かれた代数的数論に関する国際会議の名誉議長をつとめて、

国連加盟・・・1956＝81歳：

安保闘争・・・1960＝85歳：_没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、インターネットWikipedia、